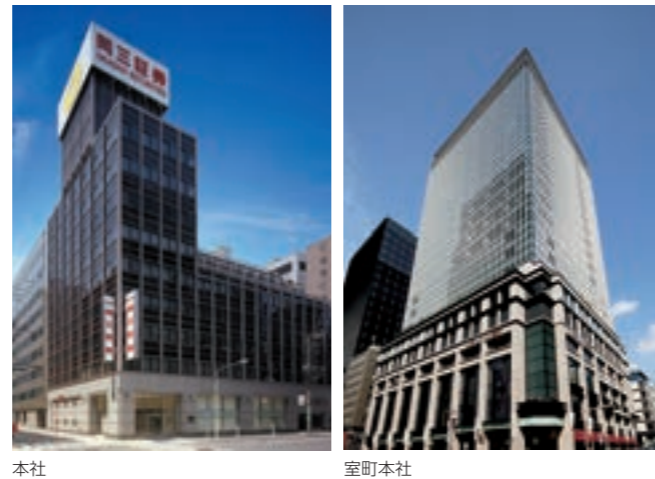


■ 会社概要 (2021年11月18日現在)

商号 株式会社岡三証券グループ
(OKASAN SECURITIES GROUP INC.)
所在地 東京都中央区日本橋一丁目17番6号
創業 1923年4月4日
設立 1944年8月25日
資本金 18,589,682,639円
従業員数 3,706名 (第84期第2四半期連結ベース)
上場金融商品取引所 東京・名古屋証券取引所



本社

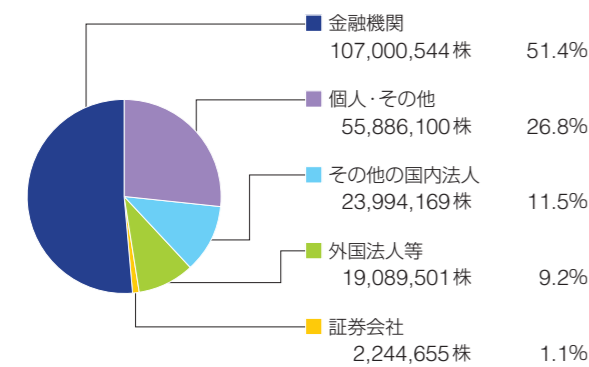
室町本社

■ 株式の状況 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 750,000,000株
発行済株式の総数 208,214,969株
株主数 27,575名

所有者別持株比率



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,622	8.80
日本生命保険相互会社	9,732	4.86
農林中央金庫	9,700	4.85
三井住友信託銀行株式会社	8,726	4.36
大同生命保険株式会社	8,660	4.33
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,822	2.91
有限会社藤精	5,266	2.63
株式会社りそな銀行	4,937	2.47
株式会社みずほ銀行	4,925	2.46
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社 日本カस्टディ銀行	4,924	2.46

※ 当社は、自己株式8,058,585株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月中に開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
公告方法 電子公告(当社ホームページに掲載) <https://www.okasan.jp>
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-782-031 (平日9:00~17:00/土・日・休日を除く)
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、株主さまの口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社の口座をご利用されていない(特別口座に株式のある)株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

配当金のお受取り方法について

配当金のお受取り方法につきましては、便利なご指定口座への口座振込による方法のほか、証券会社のお取引口座において株式数に応じてお受取りいただく方法、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口でお受取りいただく方法がご利用いただけます。

お手続きにつきましては、株主さまの口座のある証券会社または三井住友信託銀行(特別口座に株式のある株主さま)へお問い合わせください。

株主のみなさまへ

第84期中間のご報告 (2021年4月1日~2021年9月30日)

株式会社 岡三証券グループ

■ ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた方々に謹んでお見舞い申し上げます。さて、第84期中間のご報告をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。当上半期は、新型コロナウイルス変異株の影響が引き続き生活や経済活動に影響を及ぼしました。一方、証券市場では、経済活動再開や新政権への期待、他方で海外要因も絡み、9月に日経平均株価が31年ぶりの高値を付ける一方で調整局面も見られるなど波乱含みの展開となりました。

このような中、当社グループは、お客さまおよび従業員の安全に配慮した営業活動に努めつつ、資産運用サービスの付加価値を高める取り組みを推進しております。また、経営の新機軸と位置付けるサステナビリティに関し、当上半期において推進専門組織の設置や重要課題の特定を行いました。

中核子会社の岡三証券では、営業統括部門をマーケティング統括部門に改組し、お客さまのニーズをより深く分析し、よりの確にお応えする体制を構築いたしました。また、提案力、ソリューションを強化するとともに、お客さまに近いエリアへのサテライト拠点展開を進めるなど、CX(お客さま体験価値)向上に努めました。

今後のグループ経営では、プラットフォーム戦略のもと、お客さまとの直接の接点となる領域ではカンパニー制などを活用した権限委譲を行う一方、商品、情報、システム、管理などの各機能の共通化と効率化を進めます。2022年1月に、岡三オンライン証券は岡三証券におけるカンパニーとして統合し、さらに強化いたします。対面、非対面それぞれの分野における当社グループの強みの融合と進化を加速させてまいります。

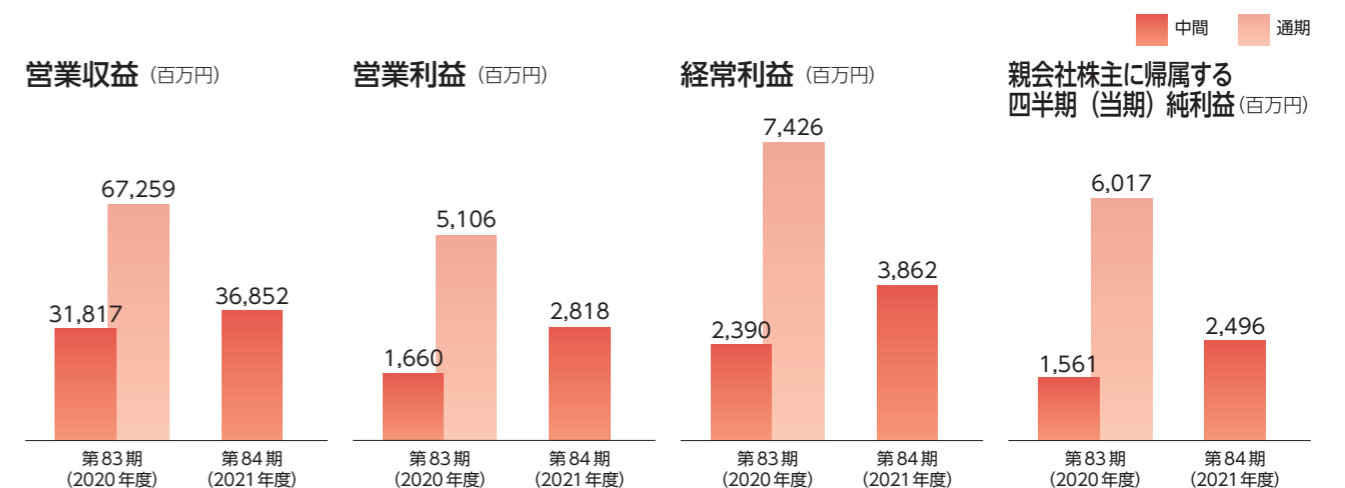
株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年11月



取締役社長 新芝宏之

■ 業績ハイライト (連結)



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科 目	(単位：百万円)		科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期 (2020年9月30日)	当年度第2四半期 (2021年9月30日)		前年度第2四半期 (2020年9月30日)	当年度第2四半期 (2021年9月30日)
<資産の部>			<負債の部>		
流動資産	406,871	511,041	流動負債	292,388	380,908
現金・預金	79,458	78,861	トレーディング商品	87,329	93,555
預託金	75,960	107,182	約定見返勘定	12,154	—
トレーディング商品	101,935	127,981	信用取引負債	17,111	24,702
約定見返勘定	—	1,950	有価証券担保借入金	26	33,647
信用取引資産	47,292	73,647	預り金	52,300	87,983
有価証券担保貸付金	85,379	101,290	受入保証金	35,417	38,711
その他の流動資産	16,845	20,129	短期借入金	81,844	94,022
固定資産	80,851	97,608	その他の流動負債	6,203	8,285
有形固定資産	18,450	18,229	固定負債	23,228	34,050
無形固定資産	6,264	4,222	特別法上の準備金	1,044	1,236
投資その他の資産	56,136	75,156	負債合計	316,662	416,195
			<純資産の部>		
			株主資本	148,059	152,112
			資本金	18,589	18,589
			資本剰余金	23,843	23,848
			利益剰余金	109,422	113,407
			自己株式	△ 3,795	△ 3,733
			その他の包括利益累計額	13,667	17,310
			新株予約権	422	463
			非支配株主持分	8,911	22,568
			純資産合計	171,060	192,455
資産合計	487,723	608,650	負債・純資産合計	487,723	608,650

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

科 目	(単位：百万円)	
	前年度第2四半期累計 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当年度第2四半期累計 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業収益	31,817	36,852
① 受入手数料	20,782	23,106
② トレーディング損益	9,819	12,152
金融収益	779	1,095
その他の営業収益	436	497
金融費用	567	581
純営業収益	31,249	36,271
③ 販売費・一般管理費	29,589	33,452
営業利益	1,660	2,818
営業外収益	845	1,115
営業外費用	115	71
経常利益	2,390	3,862
特別利益	228	384
特別損失	165	70
税金等調整前四半期純利益	2,453	4,176
法人税、住民税及び事業税	544	1,068
法人税等調整額	192	374
法人税等合計	737	1,442
四半期純利益	1,716	2,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	154	237
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,561	2,496

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、前年同期比15.8%増の368億52百万円となりました。

なお、当期より、株式会社証券ジャパンについて損益計算書を連結しております。

① 受入手数料

国内外株式の委託手数料は減少した一方、投資信託関連の収益が増加し、受入手数料は前年同期比11.2%増の231億6百万円となりました。

② トレーディング損益

外国株式、外国債券に係るトレーディング損益が増加し、トレーディング損益は前年同期比23.8%増の121億52百万円となりました。

③ 販売費・一般管理費

主に人件費や事務費の増加等により、販売費・一般管理費は前年同期比13.1%増の334億52百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比61.6%増の38億62百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同59.8%増の24億96百万円となりました。

OKASAN TOPICS

岡三トピックス

岡三証券グループ サステナビリティの視点での取り組みを推進

岡三証券グループでは、本年4月にサステナビリティ推進室を設置し、持続可能性への貢献という視点を経営の意思決定に一段と取り入れています。

サステナビリティとは経営そのものであるとの考えのもと、サステナビリティ基本方針を策定しているほか、当社が考慮すべき主要な経営課題、機会またはリスクに発展しうる重要な社会課題を抽出・分析し、優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）として、「お客さまの未来」「社会づくり」「イノベーション」「人材」「財務基盤」「ガバナンス」の6つのテーマを特定しました。

これらの詳細は、当社Webサイトや統合レポート2021に掲載しています。



岡三証券グループのサステナビリティ(当社Webサイト)
www.okasan.jp/sustainability/

岡三証券 日本橋室町本店開設・サテライト拠点拡充

岡三証券は本年6月、新たな営業拠点「日本橋室町本店」(東京都中央区)を開設しました。日本橋室町本店は、従前の大手町、虎の門、浅草の各支店および日本橋室町店による統合拠点と位置付けています。

また、拠点拡充策として、お客さまにより近いエリアに小規模営業拠点「サテライトプレイス」の展開を進めており、本年8月にかけて東京都内4拠点を開設しました。

統合拠点活用による支店間ならびに本社機能との連携強化や、拠点網拡充による一層細やかな営業活動を通じて、CX(お客さま体験価値)の向上を図ってまいります。



日本橋室町本店
(COREDO 室町3)

岡三証券、岡三オンライン証券 25歳以下手数料実質無料化スタート

当社グループでは、岡三オンライン証券が本年5月から、岡三証券が6月から、25歳以下のお客さまを対象に、株式など一部商品のお取引手数料をキャッシュバックにより実質無料化する取り組みをスタートしました。

少子高齢化が進展するなか、老後資産の形成は重要なテーマとなっています。そのためには、より早い段階で資産形成を開始することが肝要であり、取引コストの低減はその一助として期待されるものです。

岡三証券グループでは、投資教育に資する取り組みと合わせて、次世代の方の資産形成を応援してまいります。



※詳細は、「岡三証券」または「岡三オンライン証券」のWebサイトをご覧ください。

岡三アセットマネジメント、岡三にいがた証券 地域応援ファンドによる寄附を実施

岡三アセットマネジメントは本年7月、同社が運用する地域応援ファンド「香川県応援ファンド」の信託報酬の一部から、香川県の社会福祉向上のため、福祉活動用車両の寄附を実施しました。

また岡三にいがた証券は本年8月、同社が販売する地域応援ファンド「うるおいの大地」の信託報酬の一部から、県内の農業関連施設への寄附を行いました。

岡三証券グループ各社では、今後も本業を通じた地域貢献や福祉支援に努めてまいります。



寄附贈呈式の様子(うるおいの大地)